

WELCOME TO URAKAWA TOWN, HOKKAIDO

# ENGLISH T.E.D.D.Y. CAMP IN THE FOREST

Teamwork. Empathy. Diversity. Dialogues. "Y" as in WHY



日程：2024年11月1日（金）～3日（日）3日間

対象：子ども（年齢：7～11歳）町内・町外に住むみなさん

3日間のキャンプ参加費 50,000 円

（国内からの参加者 25% 割引 37,500 円／日高管内からの参加者 40% 割引 30,000 円）

※2日間の参加希望についてはご相談ください。

申し込み・支払い締切 10月23日（水）

親として、子どもにこんな風を感じたことはありませんか？

お友達ともっと協力できる力を身につけるには・・・

相手の気持ちをもっと考えられるようになるには・・・

相手の見方や考えをもっと尊重するには・・・

他者との共同作業によって、一緒に成長するには・・・

もし一つでも”YES”があるなら浦河で行われる英語キャンプに参加してみませんか？豊かな森と海に囲まれた浦河には国内外から注目を浴びる「浦河べてるの家」をはじめとするメンタルヘルスの発祥の地であり地域一丸となって子どもたちの成長、ウェルビーイングを応援しています。この英語キャンプでは次世代の育成に焦点を当て、みずからの未来を切り開くための感性と創造性を培うという目的を持っています。この3日間はなにより子どもたちが楽しい時間を過ごせるように、そして挑戦する気持ちを最大限に引き出せるような環境を提供します。子どもたちがもつ5感を大いに刺激し、子どもたちの「やってみる！」を応援します。

## 去年の参加者からの声

### 親御さん

“子どもたちは最初は緊張した様子でしたが、最後まで楽しんでいました。”

“子どもたちは森で遊んだ経験がありませんでした。とても気に入ったようです。”

“森の中で、仲間と協力しながら食事づくりを学びました。”

“息子が通う学校の先生から聞いた話です。息子は以前までお友達と「鬼ごっこ」をするとき、必ずお友達に鬼役をさせることが多かったそうです。ですが、イングリッシュキャンプを通して、自分ではない何者かを演じたり、感情を身体で表現をしたりする経験を経て、彼の日常の振る舞いに変化が起きました。それは、自分の希望を相手に伝える前に、相手の気持ちや考えを相手に尋ねるという新しい態度でした。今では、息子は「鬼ごっこ」で、お友達に鬼をやるように押し付けるのではなく、鬼になっても平気か相手に尋ねるようになったそうです。これは彼にとって、ものすごく大きな変化です。キャンプで得たものは、人生において最も大切な生きるスキルだと感じます。ありがとうございました！”

### 子どもたち

“楽しかった！”

“また参加したい・・・”

“初めてパフォーマンスをした。嬉しかった。”

キャンプのテーマは・・・

Teamwork (チームワーク). Empathy (共感). Diversity (多様性)  
Dialogues (対話). “Y” as in WHY (好奇心)

講師



SEAN KWAN (シヨン・クワン)

香港出身、イギリス在住。アイルランド、トリニティ大学大学院のアプライドドラマの修士課程修了。長年、香港でラジオ局のDJを務め、数々のディズニー映画の吹き替えを担当。現在、グローバル企業を中心に個人や組織のリーダーシップ研修でのコーチングの講師として活躍中。ケンブリッジ大学やロンドン・ビジネス・スクールなどの主要ビジネススクールで教鞭をとる。



MANA MUKAIYACHI (向谷地愛)

北海道・浦河町出身、東京在住。浦河町の町民ミュージカルに5年間出演。青山学院大学総合文化政策学部卒業。2年間米国へ留学。ミュージカルカンパニーイツフォーリーズ所属の俳優として活動する。全国の病児障がい児・家族にデリバリーでパフォーマンスを届ける心魂プロジェクトメンバー。べてるの家で精神障がいを持つ人たちと地域で暮らした経験を活かして、精神保健福祉士を取得し、コロナ禍以降、シヨンとワークショップを国内外で開催している。



YASUSHI IHARA (伊原康史)

東京都出身。米国インディアナ州立インディアナ大学卒。東京で幼児教育コンサルティング会社勤務などを経て、2018年より学校法人フレンド恵学園 理事長。こどもの【幸せ・well-being】を理念にこども園、療育事業所、オルタナティブスクールを運営している。



## T.E.D.D.Y. とは・・・

<p>Teamwork (チームワーク・協働)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チームの成功に重点を置く</li> <li>● 他人のアイデアに基づいて構築する - 「はい、そして」という習慣</li> <li>● 連携の発揮</li> </ul>
<p>Empathy (共感力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他人を理解するために聞く</li> <li>● 他人の視点から物事を見る</li> <li>● 他人の立場で自分を想像する</li> </ul>
<p>Diversity (多様性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰もが違うことを受け入れる</li> <li>● 他人の違いを尊重する</li> <li>● 他人の違いを受け入れる環境を作る</li> </ul>
<p>Dialogue (対話)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理解を構築するための継続的なアクション</li> <li>● 表現することと聞くことはどちらも同じように重要です</li> <li>● 敬意と理解を築く</li> <li>● さまざまな形式にすることができます。会話、言葉、絵、音楽…</li> <li>● 自己、他者、環境との対話で構成されますが、これらに限定されません。</li> </ul>
<p>“Y” as in WHY (WHYの「Y」)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なぜ人々の好奇心を表現するのか</li> <li>● 好奇心は人類と社会の発展の基礎です</li> <li>● 私たちの成長を促進するには、誰もがもっと好奇心を抱く必要があります</li> </ul>

## 内容の流れ

Day	Time	Description	Detail & Remark
1日目 11月1日(金)	0900-0930	受付・歓迎	
	0930-1200	遊びのアクティビティと 体験プロセス	演劇をベースにした遊び
	1200-1300	昼休憩	
	1300-1500	森での活動	
2日目 11月2日(土)	0900-1200	遊びのアクティビティと 体験プロセス	
	1200-1300	昼休憩	演劇をベースにした遊び
	1300-1500	森での活動	
	1500-1700 / 1800	キャンプファイヤーとBBQ 親子でチーム活動	
3日目 11月3日(日)	0900-1130	遊びのアクティビティ、体 験プロセス、ショーケース のリハーサル	演劇をベースにした遊び
	1130-1200	「保護者やゲストにショー ケースを見せる」	
	1200-1300	お祝い・保護者の感想 & おわかれ	

終了 (13:30まで)



問い合わせ・お申し込みは

[こちら](#)

※2日間の参加ご希望の方もご相談お受け致します。



@MANASEANWS

自然と人間を愛する共育

フレンド  
森のがっこう

浦河町についてもっと知りたい方は

[こちら](#)